



佐渡島における家庭用太陽光発電の 有効活用に向けた取り組みの開始について

～蓄電池による電気お預かりサービスに向けた実証～

2019年11月27日

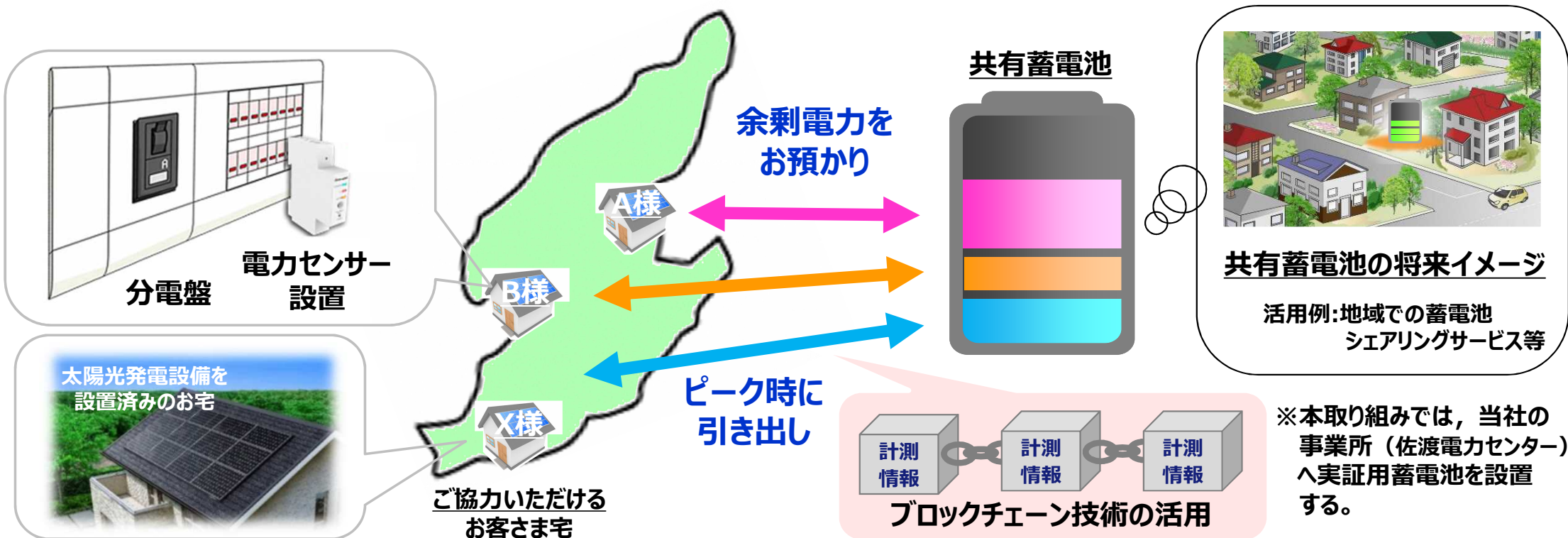
東北電力株式会社
新潟県
佐渡市

- 再生可能エネルギーや蓄電池などの普及により、個人のお客さまや企業などが電源を保有する自立分散型の電力供給システムへ移行しつつあります。
- 新潟県と東北電力は、2019年2月に包括連携協定を締結し、エネルギー有効利用や環境負荷低減等に向けて連携していくこととしております。
- その一環として、東北電力の保有するIoTやデジタル化技術を活用し、佐渡島において家庭用太陽光発電の有効活用に向けた取り組みを行うものです。



2. 本取り組みの全体概要

- 佐渡島内でご自宅に太陽光発電を設置しているお客さまで、ご協力いただける方を対象に、太陽光の発電量やお客さまの電気のご使用量等を計測する電力センサーを設置し、計測値をブロックチェーン技術を用いて記録します。
(本取り組みでは、上記の電力計測にご協力いただけるモニターさまを募集いたします)
- その上で、記録された計測値を用いて、島内に新たに設置する蓄電池の充放電制御を行うことにより、仮想的に電力を受け渡すことで共有蓄電池を用いた将来の新たなエネルギーサービスの可能性等について検討します。
- 本取り組みを通じて、再生可能エネルギーの普及拡大を図るとともに、お客さまサービスの向上や地域活性化に貢献できるよう、取り組んでまいります。



3. モニターさまの募集について

- 本取り組みでは、ご自宅の太陽光の発電量やお客さまの電気のご使用量等を計測し、それらの分析をとおして将来の新たなエネルギーサービスの可能性等について検討します。
- ついでには、佐渡島にお住まいでご自宅に太陽光発電設備を設置済の方を対象に、電力計測にご協力いただけるモニターさまを募集いたします。
- ご協力いただけるモニターさまには、家庭用蓄電池に関するアドバイスや電力見える化サービスについて、無償でご提供させていただきます。



3. 本取り組みの進め方について

- **実証期間** 2019年11月27日から2021年3月31日まで
- **検証項目**
 - ・電力計測手法とブロックチェーン技術を活用した記録手法の検討
 - ・計測情報を用いた蓄電池制御手法の検討
 - ・共有蓄電池を用いたビジネスモデルの検討

等
- **本取り組みのスケジュール**

